



Phil Jones Bass

PJB SUITCASE OWNER'S MANUAL



Phil Jones Bass/PJB 製品 日本総代理店

 **JES International, Inc.**

〒470-0112 愛知県日進市藤枝町小山 711-1

TEL:0561-72-9801 FAX:0561-72-9804 www.jes1988.com

目次

	Page
まずお読みください	2
SUITCASE 概要	3
フロント／バックパネル解説図	4
フロントパネル解説	5
バックパネル解説	6
はじめに	7
使用方法とポジショニング	7
SUITCASE を使ったのプレイ	7
SUITCASE の設置場所	7
リミッターのセッティング	8
SUITCASE の運搬と保管	8
SPECIFICATIONS	9
SIMPLIFIED BLOCK SCHEMATIC	10

SUITECASE をお買い上げいただきありがとうございます。この妥協のない、ハイ・パフォーマンスなコンボアンプのデザインと生産には多くの情熱と時間が注がれており、完全な『プロ仕様』のベースアンプです。この取扱説明書をよくお読みになり、末永くご愛用ください。

まずお読み下さい

- SUITECASEをご使用の前に、このマニュアルをよくお読みください。
- 開梱後、本体にダメージなどがないかご確認ください。もしダメージなどが認められる場合、お買い上げの販売店に報告してください。
- 外箱などの梱包材は保存してください。

警告



誤操作や誤使用により感電する恐れがあります。

- ヒーターやストーブなど、熱源の近くに置かないでください。
- この取扱説明書で指定された電源以外での使用は避けてください。
- 安全のために、長時間ご使用にならない時はコンセントから電源コードを抜いてください。
- アースは正しく取ってください。
- 正しいレーティングのヒューズをお使いください。



使用上の注意事項。

- 装備されているファンや通風孔を塞ぐ場所での使用は避けてください。
 - 以下の場合にはご使用をおやめください：
 1. 目に見える損傷がある場合。
 2. 飲み物、雨などの湿気にさらされた場合。
 3. 電源ケーブル、スピーカーケーブルに損傷がある場合。
- これらの症状が認められた際にはリペアショップにご相談ください。

SUITCASE / 概要

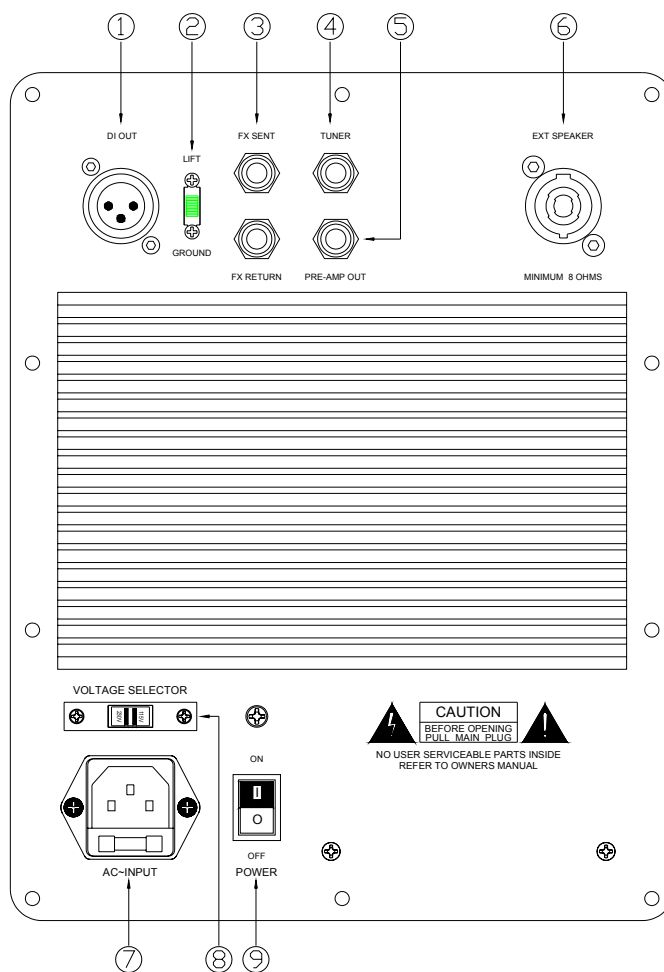
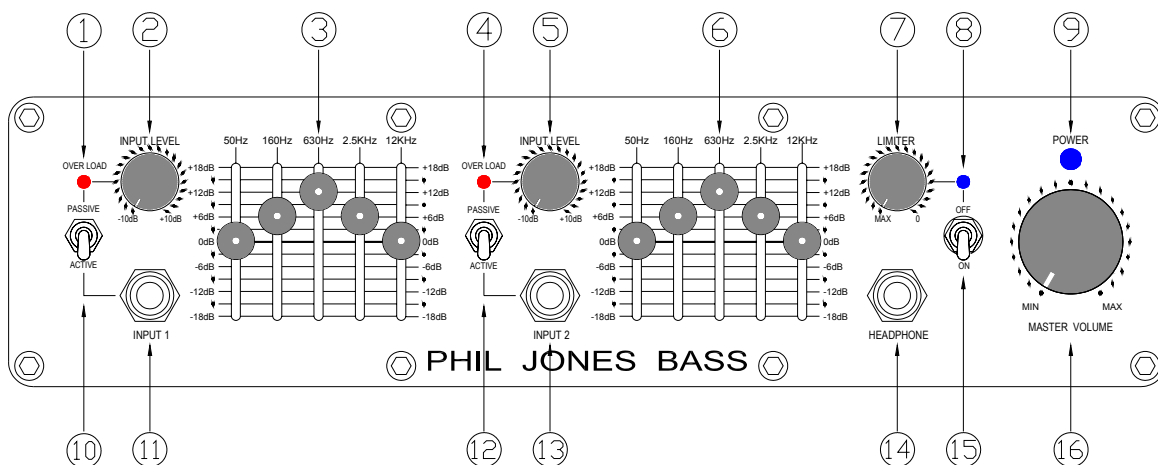
SUITCASE はただのコンボ／プラクティス・アンプではありません。その他のコンボアンプとの最も大きな相違点は、SUITCASE は非常にクリーンでパワフルなアンプ部とフルレンジ・スピーカーを装備し、アンプ本体背面の電圧セクター・スイッチを切り替えることで 100～240 ボルトの A C 電源（コンセント）で 사용할 ことが出来ます。SUITCASE はベースアンプですが、本来のハイファイな音のキャラクターにより、特にアップライト・ベースや、チェロ・バイオリンと言ったアコースティック楽器にも非常に適しています。

コンピューター・デザインにより最良の形でキャビネットに納められた 4 つの PJB 独自の 5 インチスピーカーが開放 E 音までストレスなく再生します。必要以上のベース・ブーストがなければ開放 B 音（5 弦ベース最低音）も再生することができます。

仕様

- アクティブ／パッシブ入力切り替え × 2
- 5 バンド・グラフィック・イコライザー × 2
- 光学式リミッター
- ヘッドフォン・アウト
- プリアンプ・アウト
- ライン・アウト
- エクステンションスピーカーアウト（8 - 16 オーム）
- 2 段階 A C 電源（100 - 115 V／220 - 240 V）
- プロテクション回路
- 超低ノイズ・プリアンプ回路
- エフェクト、センド・リターン

フロント/バックパネル解説図



フロントパネル解説

1. チャンネル1用インプット・オーバーロード・インジケータ

チャンネル1に入力される信号が大きい時に、LEDが点灯します。

2. チャンネル1用インプット・レベルコントロール

チャンネル1用インプット・レベルコントロール

3. チャンネル1用5－バンド・グラフィック・イコライザー.

このグラフィックはベースの最良のトーンを引き出すよう設計されており、周波数（50Hz、160Hz、630Hz、2.5KHz、12KHz。各18dBのブースト／カット）も最小限のコントロールで最大の効果を発揮します。特に注意すべきは50Hzと160Hzのコントロールで、この周波数帯域をブーストしすぎるとヘッドルームの余裕が無くなってしまいます。

4. チャンネル2用インプット・オーバーロード・インジケータ

チャンネル2に入力される信号が大きい時に、LEDが点灯します。

5. チャンネル2用インプット・レベルコントロール

チャンネル2用インプット・レベルコントロール

6. チャンネル2用5－バンド・グラフィック・イコライザー.

チャンネル1と同じ仕様です。

7. コンプレッション調節ノブ

リミッターの掛かり具合をコントロールします。コンプレッション率は3：1。プレイ・スタイルや入力楽器の出力レベルに合わせて調節してください。

8. リミッター・インジケータ

リミッターが働いている時に青のLEDが点灯します。リミッターの効き具合はどのくらい強く弾かれているか、またコントローラーの設定位置によって変わります。

9. 電源インジケータ

電源オンの状態で青色のLEDが点灯します。

10. チャンネル1用パッシブ／アクティブ入力スイッチ.

パッシブかアクティブ入力を選択するためのスイッチです。

<パッシブ>

高感度・高インピーダンス入力(100mV/ 4.7MΩ)。アクティブ回路を持たないベース用で、古いスタイルのベースに適しています。高インピーダンス・ピックアップにマッチしており、パッシブ・ベースの持つ周波数やダイナミック・レンジを忠実に再現します。

<アクティブ>

アクティブ回路を持つベース用の低感度入力(300mV)。現代のハイエンド・ベースが持つS/N比の高さと電気信号の伝達性を重視した入力です。

11. チャンネル1用インプット1

業界標準の1／4インチ・モノラル・ジャックです。

12. チャンネル2用パッシブ／アクティブ入力スイッチ

パッシブかアクティブ入力を選択するためのスイッチです。

13. チャンネル2用インプット2

業界標準の1/4インチ・モノラル・ジャックです。

14. ヘッドフォン出力ジャック

1/4インチ・プラグを持つステレオ・ヘッドフォン用ジャックです。

15. リミッター・オン／オフ・スイッチ

リミッターを使うかバイパスするかを選択するためのスイッチです。

16. 音量コントロール

スピーカー及び背面のライン・アウトに送られる出力を決定するマスターボリューム。

バックパネル解説

1. XLR出力ソケット

レコーディング・コンソールやミキシング・コンソールに直接接続するための超低インピーダンス（200 オーム）のバランス・アウトです。SUITCASE 自体のボリュームで音量をコントロールすることは出来ません。ベースないしはその他の入力機器のボリュームを変えると DI 出力は変わります。

2. グランド・リフト・スイッチ

グラウンド・ソケットを解除し、グラウンド・ループなどによるハムの発生時に使用できます。

3. エフェクト・センド&リターン

アンプのエフェクト Sent(センド)からエフェクターの入力へ、エフェクターの出力からアンプのエフェクト Return(リターン)へと接続します。

4. チューナー・アウトプット

チューナーを接続できます。また追加用ライン・アウトとしてもご使用いただけます。

5. プリアンプ出力ジャック 外部アンプ

PJB M-500 や S-1000 などのプリアンプに接続するための出力アウトジャックです。

6. エクステンション・スピーカーアウト・ジャック

PJB 4B など 8 ohm 使用の追加用キャビネットに接続します。なお 8 ohm 以下の抵抗のスピーカーに接続しないでください、使用した場合に発熱しアンプがシャットダウンします。また通常のジャック・ソケットのみならずスピーカー・コネクターもご使用できます。

7. AC電源ソケット／ヒューズ

AC 電源に接続するためのソケットで、電源ケーブルには必ず 3 極プラグで 3 アンペア @ 250 ボルト以上の物を使用してください。ヒューズには、2 アンペア / 110-120V のスローブロー・ヒューズをご使用ください。(1 アンペア / 220-240V)

8. AC電源ボルテージ・セクター

110 - 120 ボルトか 220 - 240 ボルトの AC 電源かを選択します。

(注)アンプが破損する恐れがありますのでこのスイッチが“110 - 120 ボルト”側でご使用下さい。

9. 電源オン・オフ・スイッチ

メインの電源スイッチです。長時間ご使用にならない時はコンセントから電源コードを抜いてください。

はじめに

電源スイッチを入れる前に

AC電源ボルテージ・セレクター（#8）が“110 - 120ボルト”側になっていることを確認してください。

必ず高品質の3極電源ケーブルを使用してください。付属のPJB電源ケーブルを推奨いたします。

使用方法とポジショニング

ベースを接続する前にアンプのボリュームを下げてください

SUITCASE は、最適な動作温度を保つために一定の空気の流れを必要とします。それが得られないと SUITCASE に組み込まれている熱保護回路が作動し、自動的に電源を切る場合があります。この回路は熱と出力トランジスターとパワーサプライの電流量に対して働きます。交流電圧は電気需要により、地域及び時刻で変化します。さらに SUITCASE は強制冷却を使用するので、アンプ内の温度は室温により多少変化します。

スーツケースを使っのプレイ

全く同じチャンネルが2系統あることにより、2種類のベースを使用するベースプレーヤーにとって同じサウンドを基本にすることができます。アップライトとソリッドボディ、フレット付きとフレットレス、さらにアコースティックギター、エレクトリックピアノ又はベースなどのコンビネーションなどが考えられます。スーツケースの持つフルレンジの帯域とダイナミックスはどんな楽器を使っても最高の忠実度をお約束します。スーツケースの最大の特徴は2つの楽器を交互にストレスなく使用することができます。他の同様な2チャンネルのアンプでは出力などの関係で難しい場合がほとんどです。スーツケースはスペースなどが限られている場合に2種類の楽器の同時使用も想定しています。

SUITCASEの設置場所

演奏する場所のサイズで音色が変化するのは周知の事実ですが、これは演奏する部屋の音響特性がスピーカーから出る低音の波長に影響を与えるためです。低音波は大きいため、壁によって反射する音波との間で相互干渉を起こします。そのため、ある音が余計大きく聞こえたり全く聞こえなかったりするわけです。

下記に基音となるベースの開放弦の周波数と波長を記します。

F# string	24Hz	46 feet (13.85m)
B string	31Hz	36 feet (10.84m)
E string	41Hz	27 feet (8.13m)
A string	55Hz	20 feet (6.02m)
D string	73Hz	15 feet (4.52m)
G string	98Hz	11 feet (3.31m)
C string	130Hz	9 feet (2.71m)

この表によると、たとえばスピーカーが壁から5フィート（約1.5m）離れていたとすると、開放のA弦が本来持つ重さが損なわれるでしょう。何故なら、壁によって反射した音の波長が開放A弦の波長のちょうど半分になるからです。

スピーカーを、演奏する部屋のどこに設置するかが音色を決める上で非常に重要になります。壁に近ければ低音域が増幅されるし、コーナーに設置すればさらにその傾向は強まります。演奏する部屋の広さも低音の深さを決定する面で非常に大きな影響を与えます。聴衆に遠ければ低音は弱く聞こえます。これはアンプの問題ではなく、物理的な問題なのです。

ディープでパワフルなベース音を出すには、SUITCASEを床に置き、背面が部屋のコーナーに向くよう設置するといいいでしょう。

ベーシストにとって、低音域のコントロールは常に頭痛の種であり、スピーカーから出る音と壁に反射して起こる音との相互干渉は部屋の大きさによっても左右されるのです。

リミッターのセッティング

ベースアンプにとってリミッターは必需品というわけではありませんが、ベースのキャラクターやプレイ・スタイルをスムーズにするためには有効な道具であるといえます。SUITCASEのリミッターは3：1のプリセット・コンプレッション・レートを持っていますので、効果的にダイナミック・レンジを狭めることができます。まずコンプレッション・コントロール（#5）を右いっぱいセットしリミッターのスイッチ（#4）をONにしてください。ベースを弾きながらコントロール（#5）を左に回していくと青のLEDが点滅し始めますので、リミッターが効いていることを確認できます。お好みに合わせてこのコントロールを調整してください。

（注）右いっぱいフラット。左回りで徐々に効き始めます。

SUITCASEの運搬と保管

SUITCASEは、上部のハンドルを持った際にバランスが取れるように設計されています。底面の丈夫なゴム足が、下からの衝撃を和らげます。車で運搬する際にはケースや丈夫なカバーで覆っておけば、落としたり何かが落ちてきた場合にも安心です。

SUITCASEの保管は、湿気が少なくできれば室温に近い場所で行ってください。-20度以下、または40度以上の場所には放置しないでください。濡れてしまった場合は決して電源を入れないでください。

（注）長期間ご使用にならない時は必ずコンセントから電源コードを抜いてください。

SPECIFICATIONS

Speaker

Computer Optimized Vented Enclosure

Speaker Frequency Response: 30Hz - 15KHz

Speaker Compliment: 4 x 5inch proprietary, extended-range drivers

Speaker Sensitivity: 93dB/W/M

Internal Speaker Impedance: 8 Ohms

Dimensions: 350 x 420 x 445 (mm) Weight: 22.5 kg.

Amplifier

PJB 300watt Solid State amplifier with soft clip feature

Frequency Response

Passive and Active input: 40Hz -20KHz +/- 1dB.

Low Cut Filter: 24dB/Octave at 30Hz.

Maximum Output Power (5% THD) OUTPUT (Watts RMS)

With Internal speaker 200 watts

With additional 4B speaker 300watts

Signal to Noise Ratio

Better than 80 dB (EQ off, Volume on Full.)

Impedance

Passive Input: >4M:/22pF

Active Input:

>100K:/22pF Line

Input: >75K:

Pre Amp Out: < 2K: Bal. Line Out: <200:

Levels

Passive Input:

10mV-2.5V Active

Input: 20mV-5V Pre

Amp Out: 1.2V

Bal. Line Out: Typical 100mV

Compressor / Limiter

Gain: 0dB

Compression Ratio: 3dB:1dB

Graphic EQ

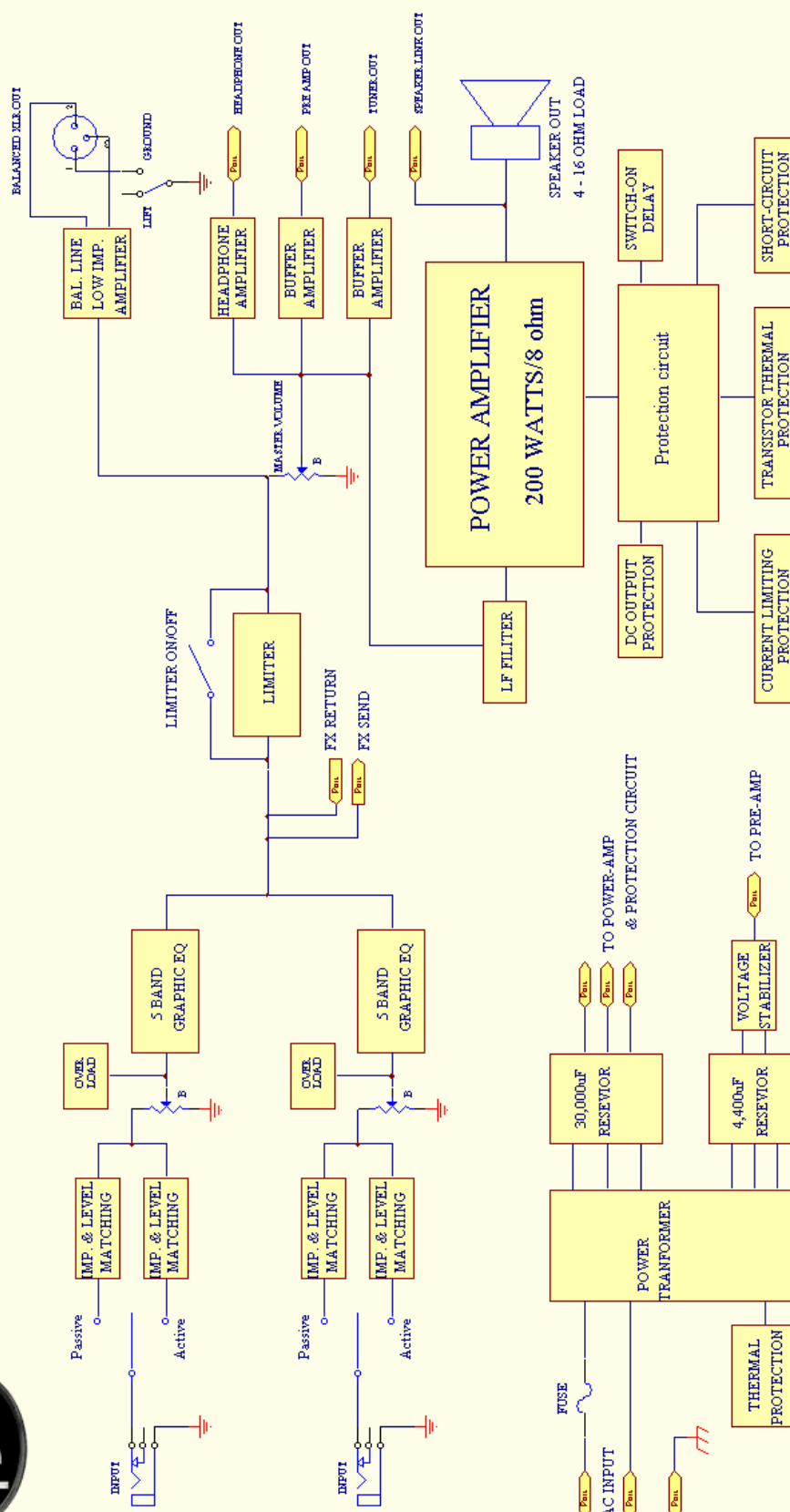
50, 160, 630, 2.5K, 10K at +/- 18dB

Included Parts

6 ft AC Power Cord



PJB SUITCASE SIMPLIFIED BLOCK SCHEMATIC



PJB 製品情報
www.jes1988.com